

環境森林部

1. 部総括表

部名：環境森林部
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
4-1	環境政策課	395,482	351,846	28,885	14,751	
4-2	環境管理課	710,783	662,087	20,875	27,821	
4-3	森林・林業政策課	(557,828) 2,486,583	(544,328) 1,773,975	(4,356) 691,578	(9,144) 21,030	
4-4	みどり保全課	(43,880) 392,424	(42,883) 332,120		(997) 5,490	
4-5	循環型社会推進課	(282,891) 1,490,499	(282,873) 1,425,087		(18) 65,412	
	部計	(884,599) 5,475,771	(870,084) 4,545,115	(4,356) 796,152	(10,159) 134,504	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：環境政策課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-1-1	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	8,933	8,386		547	主要施策の成果の概要(4-1-1)に記載
4-1-2	環境政策推進事業	2,210	2,102		108	環境白書の作成のほか環境保全活動の推進に要する経費
4-1-3	脱炭素・地球温暖化対策事業	203,283	162,006	28,885	12,392	主要施策の成果の概要(4-1-3)に記載
4-1-4	国土利用計画法施行事務費	12,146	12,021		125	国土利用計画法施行事業経費等
4-1-5	給与費	159,662	159,557		105	環境政策課職員の給与費給料78,901、職員手当等50,388、共済費30,268
4-1-6	総務管理費	9,248	7,774		1,474	環境森林部の運営等に要する経費
	課計	395,482	351,846	28,885	14,751	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：環境政策課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
環境政策課	18	[1] 3	[1] 21	愛媛県交流職員1名
合計	18	[1] 3	[1] 21	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業（4-1-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 本県の豊かで美しい自然や快適な生活環境を将来に引き継いでいくため、環境を守り育てるための人づくりや地域づくりに取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわ未来へつなぐ環境学習会開催事業（3,309千円） 環境保全団体や県等が行っている「学びの場」の活動を幅広く紹介し、活動内容の一部を体験してもらうイベントを開催することで、環境への関心を高めるきっかけづくりを行った。 (2) 環境地域づくり情報発信事業（2,398千円） 多くの方々が環境保全等に興味を持ち、また、環境の保全に向けて行動するきっかけとなるよう、新聞記事やホームページ、SNSを活用して情報発信を行った。 (3) 地域における環境学習推進事業（1,472千円） 身近な場所で環境について学べる機会を提供するため、市町や民間団体、企業等と連携して、環境学習講座を開催したほか、環境活動団体交流会を実施した。 (4) 学校における環境学習推進事業（548千円） 児童や生徒の環境への関心を高めるため、本県独自の環境学習教材の活用を図るとともに、県職員等を学校等に派遣し出前講座を実施した。 (5) 次世代へつなぐ美しい香川推進事業（659千円） 環境を守り育てる地域づくりモデル活動団体を指定し、環境学習講座の開催や環境保全活動の企画・運営を支援するとともに、高校生を対象に、地域の環境課題をテーマにした講演やワークショップを実施した。 (6) かがわ里海大学運営事業（6,002千円）（4-2-14に再掲） かがわ里海大学において各種講座を実施して里海について理解を広げ、里海づくりをけん引する人材を育成した。 (7) 里海ナビゲーション事業（333千円）（4-2-14に再掲） 県民が海に親しむきっかけとなるよう、里海づくり絵日記コンテストの実施など、県民の環境保全活動を促進した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>環境保全活動や環境学習講座等への参加状況 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1401 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29.4 (R3.6現在)</td> <td>39.7 (R5.6現在)</td> <td>40.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県と連携した市町・事業者・民間団体数</p> <table border="1" data-bbox="943 640 1401 797"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>69</td> <td>89</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table> <p>かがわ里海大学修了者数 30講座：419人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	29.4 (R3.6現在)	39.7 (R5.6現在)	40.0	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	69	89	94
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
29.4 (R3.6現在)	39.7 (R5.6現在)	40.0											
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
69	89	94											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(8) 参加型モニタリング事業 (56 千円) (4-2-1 4に再掲) 県民参加型の海辺の生きもの調査等、里海づくり活動に関わる場を提供することで、県民の環境保全活動を促進した。</p> <p>(9) 活動連携促進事業 (182 千円) (4-2-1 4に再掲) 企業等向けの相談窓口「里海コンシェルジュ」の設置やセミナーの開催等により、企業等の里海活動の普及や活動実施に向けた地域との連携を支援した。</p> <p>(10) 森とみどりの祭典開催事業 (3,409 千円) (4-3-1 3に再掲) 県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、緑の少年団や森林ボランティア、林業・木材産業の関係者が連携し、県民の「みどりづくり」から「木づかい運動」までの理解を深めるための普及啓発活動を行った。</p> <p>(11) どんぐり銀行活性化事業 (1,719 千円) (4-3-1に再掲) どんぐり銀行を活性化するため、ポイント制度による協賛企業等の充実を図るとともに、どんぐり銀行臨時支店を開設した。</p> <p>(12) みどりの学校運営事業 (5,012 千円) (4-3-1に再掲) みどりづくり活動への参加の機会を広く県民に提供するため、森林ボランティア団体等と協働し、みどりづくりに関する体験、学習、実践ができる様々な講座を開催するとともに、みどりづくり活動を担う人材の育成を行った。</p> <p>(13) 「まちかど生き物標本展」開催事業 (1,998 千円) (4-4-5に再掲) 生物多様性保全の重要性の普及を図るため、県内の研究者等が所有する標本を活用した「まちかど生き物標本展」(4会場)を開催したほか、参加型のフィールド講座(3回)を実施した。</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>脱炭素・地球温暖化対策事業（4-1-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民や事業者による省エネルギー行動の促進や再生可能エネルギーの導入を促進するなど、地球温暖化対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 脱炭素・地球温暖化対策推進事業（477千円） 脱炭素社会の実現に向けて、市町や関係団体等と連携・協働して県全体として取組みを推進するため、市町や関係団体等で構成する香川県地域脱炭素推進協議会を設立し、協議会を2回、協議会幹事会を4回開催し、「香川県地球温暖化対策推進計画」の施策内容を具体的に示した「香川県地域脱炭素ロードマップ」を策定した。</p> <p>(2) 省エネルギー行動等促進事業（14,029千円） ①省エネ県民運動等推進事業（1,348千円） 家庭や事業所が省エネルギー行動に取り組む意識を醸成し、省エネルギー行動が日常行動・事業活動に自然に組み込まれることを目的として、関係機関と連携しながら、「かがわ省エネ節電所」の開設・運営など、各種の普及啓発事業を実施した。</p> <p>②くらしの省エネ新エネ設備機器普及促進事業（350千円） 「くらしの省エネ新エネ普及促進協議会」と連携して、省エネ新エネ設備機器の導入促進を図るための普及啓発イベントを行った。具体的には令和5年2月18日（土）にCO₂削減フェスティバルを実施した。</p> <p>③ゼロカーボンシフト支援事業（10,225千円） 事業所における温室効果ガス排出抑制の計画的な取組みを促進するため、一定規模以上の特定事業者に対して、専門家とともに現地調査を実施した。 また、県内金融機関等とコンソーシアムを組織し、ESG融資に係る情報等を共有するとともに、エネルギー管理士等の専門家を事業者に派遣することで、CO₂削減の取組支援を行った。 加えて、(公財)香川県環境保全公社に、ゼロカーボン企業相談窓口を設置したほか、脱炭素に向け優れた取組みを行った事業者の表彰を行った。</p> <p>④かがわプラスチック・スマートショップ認定事業（883千円）（4-5-3に再掲） プラスチックごみの削減に取り組む店舗等を認定・</p>	<p>3. 指標</p> <p>温室効果ガス削減率(対H25年度比)(%)</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1401 479"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲15.8 (H29年)</td> <td>▲24.4 (R2年)</td> <td>▲33</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績値は暫定値</p> <p>「脱炭素に向けたライフスタイル等の転換」を意識した県民行動の定着度(%)</p> <table border="1" data-bbox="943 640 1401 804"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75.6 (R3.6現在)</td> <td>67.2 (R5.6現在)</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>かがわ省エネ節電所 R4年度 登録件数(累計) 5,721世帯(16,478人) 521事業所 省エネ講座(2回) 参加者数 145人 (オンライン含む)</p> <p>CO₂削減フェスティバル参加者数 138人(会場参加のみ)</p> <p>特定事業者に対する現地調査 R4年度 5事業所 専門家派遣事業者 R4年度 8社 かがわ脱炭素取組大賞1社・優秀賞4社</p> <p>スマートショップ 認定店舗数 R4年度 48店舗(累計171店舗)</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	▲15.8 (H29年)	▲24.4 (R2年)	▲33	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	75.6 (R3.6現在)	67.2 (R5.6現在)	90
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
▲15.8 (H29年)	▲24.4 (R2年)	▲33											
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
75.6 (R3.6現在)	67.2 (R5.6現在)	90											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>登録する「かがわプラスチック・スマートショップ」認定制度を運用し、店舗数の拡大や事例紹介を通じて、プラスチックごみ削減にかかる普及啓発を行った。</p> <p>⑤食品ロス削減推進事業 (1,223 千円) (4-5-3に再掲) 県庁フードドライブ活動や出前講座の実施のほか、食品ロス削減に取り組む小売店や飲食店を登録する「かがわ食品ロス削減協力店」、優れた取組みを表彰する「かがわ食品ロス削減大賞」等の制度運営を通じて、食品ロス削減にかかる普及啓発を行った。</p> <p>(3) 再生可能エネルギー等導入促進事業 (226,102 千円)</p> <p>①かがわスマートハウス促進事業 (145,107 千円) 住宅における脱炭素化を促進するため、住宅用太陽光発電設備やZEH等の導入に対して補助を行った。</p> <p>②燃料電池自動車等普及促進事業 (261 千円) 水素エネルギーが活用される社会を目指し、燃料電池自動車等の普及を促進するため、実験キットを活用した水素発電実験等の講座を開催し、水素エネルギーの普及啓発を行った。</p> <p>③エネルギー関連産業育成支援事業 (3,884 千円) (6-1-4に再掲) エネルギー関連産業の育成に向けて、エネルギーに関するセミナーの開催を行うとともに、県内企業の販路開拓につながるようエネルギー関連技術・製品の見本市への出展を支援した。</p> <p>④A I 等先端技術活用型研究開発支援事業 (71,050 千円) (6-1-4に再掲) A I をはじめとした先端技術の活用など、県内企業の成長のエンジンとなる分野への取組みについて、技術の高度化・商品開発の進度を高めるため、産業技術総合研究所と連携・協力して実施する研究開発を支援した。</p> <p>⑤小水力発電導入検討事業 (5,800 千円) (9-4-2に再掲) 再生可能エネルギーの活用に向けて、椋川ダムにお</p>	<p>県庁フードドライブ 実施回数 R4年度 2回 出前講座 実施回数 R4年度 9回 食品ロス削減協力店 登録店舗数 R4年度 232 店舗 (累計 377 店舗) 食品ロス削減大賞 R4年度 大賞 2点、特別賞 10点</p> <p>住宅用太陽光発電システム設置件数 (累計) R2年度 27,124 件 R3年度 28,070 件 R4年度 28,780 件 蓄電池設置件数 (累計) R2年度 1,371 件 R3年度 2,132 件 R4年度 2,812 件 ZEH補助件数 R4年度 254 件 V2H補助件数 R4年度 18 件</p> <p>セミナー開催 1回 国際二次電池展に県内企業 4社出展</p> <p>県内企業 5社 (新規 3社、継続 2社) に補助金を交付するとともに、技術相談等を実施</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>ける小水力発電の導入の可能性について、検討を行った。</p> <p>(4) 森林整備等推進事業 (141,720 千円) (4-3-1、4-3-13、4-3-15に再掲) 植栽・間伐等の森林整備や路網整備・間伐材の搬出等を行う森林所有者等に補助を行うとともに、公共建築物や個人住宅・民間施設での県産木材の利用や民間施設の芝生化等の街なか緑化に要する経費を助成した。</p> <p>(5) CO2以外の温室効果ガス対策事業 (36,446 千円) ①フロン回収推進事業 (481 千円) (4-2-6に再掲) フロン排出抑制法に基づき、フロン類を使用する機器の適切な管理や、機器の整備・廃棄等に当たってのフロン類の適切な充填・回収について、事業者への周知、指導を行った。</p> <p>②環境保全型グリーン農業推進事業 (29,207 千円) (8-2-12に再掲) 環境にやさしい農業の普及・拡大を図るため、産地に適した環境負荷低減技術と省力化技術を組み合わせた栽培体系の現地実証や、土壌測定診断結果に基づく施肥の改善指導、家畜ふん堆肥の有効利用を促進するリーフレットの作成等を行った。</p> <p>③環境保全型農業直接支援事業 (6,758 千円) (8-2-12に再掲) 化学農薬や化学肥料の使用を低減した上で、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動に取り組む農業者への支援を行った。</p> <p>(6) 気候変動適応策連携推進事業 (2,696 千円) 本県の現状に応じた気候変動適応に関する施策を推進するため、香川県気候変動適応センターである環境保健研究センターにおいて、環境省や国立環境研究所等と連携し、農業分野及び暑熱分野を中心とした本県特有の気候変動影響及び適応策に関する情報収集・分析を行うとともに、令和4年9月11日に気候変動適応セミナーを開催するなどした。</p> <p>(7) かがわエコオフィス推進事業 (1,542 千円) ①省エネ設備更新ESCO導入モデル事業等 (542 千円) 県有施設における省エネルギー化を推進するため、設備更新型ESCO事業を活用したモデル事業の実施に向けた事業者選定等を行った。</p>	<p>気候変動適応セミナー参加者数 43 人</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>②太陽光発電設備導入可能性調査事業（175 千円） 防災施設となっている県有施設 21 施設について、太陽光発電設備の導入可能性調査を行った。</p> <p>③県有施設太陽光発電設備整備事業（825 千円） 笠田高校校舎棟に、太陽光発電設備を整備するための工事設計を行った。</p>	

2. 課総括表

課名：環境管理課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-2-1	ふるさと香川の水環境保全・創出事業	62	62			県・市町・地域住民等が協議会を組織し、協働して行う総合的な水環境の保全・創出に要する経費
4-2-2	環境保全施設整備資金融資事業	28,151	11,451		16,700	主要施策の成果の概要(4-2-2)に記載
4-2-3	給与費	466,657	466,606		51	環境管理課職員等の給与費等 給料238,210、職員手当等 134,431、共済費82,154
4-2-4	水質試験検査事業	3,402	3,199		203	水道や井戸の水質検査等に要する経費
4-2-5	大気汚染常時監視システム整備運用事業	11,410	11,409		1	大気汚染常時監視システムのリースに要する経費
4-2-6	青い空保全推進事業	37,113	35,742		1,371	主要施策の成果の概要(4-2-6)に記載
4-2-7	機器整備事業	28,353	6,180	20,875	1,298	試験研究機関の機器整備に要する経費
4-2-8	試験研究事業	533	528		5	大気汚染、水質汚濁の防止、公衆衛生のための調査研究に要する経費
4-2-9	公害対策推進事業	5,308	5,104		204	公害紛争処理、公害苦情処理、環境保全推進に要する経費
4-2-10	きらめく瀬戸内海創出事業	34,045	32,001		2,044	主要施策の成果の概要(4-2-10)に記載
4-2-11	化学物質対策推進事業	10,499	9,615		884	環境中の化学物質濃度調査、発生源の監視・指導を行う等、化学物質適正管理の促進に要する経費
4-2-12	生活環境保全対策推進事業	156	97		59	環境基本法等の適正運用及び騒音・振動・悪臭防止対策の推進に要する経費
4-2-13	アスベスト対策推進事業	511	420		91	アスベスト飛散防止対策の実施に要する経費
4-2-14	かがわ「里海」づくり推進事業	31,603	27,042		4,561	主要施策の成果の概要(4-2-14)に記載(一部再掲)
4-2-15	海岸漂着物地域対策推進事業	2,166	2,166			地域環境保全対策費補助金の返還に要する経費
4-2-16	環境保健研究センター運営管理費	50,814	50,465		349	環境保健研究センターの運営管理に要する経費
	課計	710,783	662,087	20,875	27,821	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：環境管理課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
環境管理課	20	1	21	
環境保健研究センター	40	12	52	産後休暇1名
合計	60	13	73	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>環境保全施設整備資金融資事業（4-2-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 環境保全のために公害防止施設の設置など、改善を行おうとする県内中小企業者に対し、特例措置として利子補給を行うことにより、良好な環境の保全に努めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 環境保全施設整備資金貸付金（10,900千円） 環境保全のために公害防止施設の設置など、改善を行おうとする県内中小企業者に対し、施設整備に要する資金について、取扱金融機関と協調して融資を行った。 (2) 環境保全施設整備資金融資利子補給（551千円） 排水処理施設を設置する小規模事業者等を支援するため、環境保全施設整備資金融資が無利子となるよう、利子補給を行った。</p>	<p>新規融資実績 H29年度：1件（1件） H30年度～R4年度 ：0件（0件） ※（ ）は、無利子融資</p> <p>R4年度末融資件数 2件 有利子分 0件 無利子分 2件</p>						
<p>青い空保全推進事業（4-2-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 大気汚染防止法に基づき、大気環境の常時監視を行うとともに、工場・事業場に対する規制・指導を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 大気汚染常時監視機器更新整備事業等（11,743千円） 大気汚染防止法で設置が定められている常時監視施設の機器の更新等整備を行った。 (2) 大気汚染常時監視機器運営管理事業（22,795千円） 大気汚染防止法に基づく常時監視を行い、その結果を迅速に把握・公表するとともに、光化学オキシダント注意報等の緊急時の発令、PM2.5高濃度予測時の注意喚起に備えた。 (3) 大気汚染調査指導事業等（1,204千円） 大気汚染防止法等に基づき、工場・事業場の固定発生源の届出を審査するとともに、計画的に工場等への立入検査を実施し、規制基準を遵守するよう監視・指導した。</p>	<p>3. 指標 生活環境の向上（大気・水・騒音の満足度）（%）</p> <table border="1" data-bbox="946 1070 1401 1236"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.6 (R3.6現在)</td> <td>59.3 (R5.6現在)</td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>大気環境の常時監視を行い、大気汚染の状況を把握するとともに、工場・事業場に対する規制・指導を徹底することなどにより、大気汚染物質排出量の抑制を図り、大気環境の保全に努めた。</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	52.6 (R3.6現在)	59.3 (R5.6現在)	58.0
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
52.6 (R3.6現在)	59.3 (R5.6現在)	58.0					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>きらめく瀬戸内海創出事業（4-2-10）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>水質汚濁防止法等に基づき、公共用水域（河川・海域）や地下水の水質汚濁の状況を監視するとともに、工場・事業場の排水等の規制・指導を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 公共用水域監視測定等事業（30,274千円）</p> <p>水質測定計画に基づき、県内の河川、海域及び地下水の水質を常時監視し、環境基準の達成状況を把握するとともに、県内の公共用水域において発生した水質異常事故の原因究明と対応を速やかに実施した。また、瀬戸内海沿岸11府県が連携して、広域総合水質調査を実施した。</p> <p>(2) 工場・事業場監視測定事業（177千円）</p> <p>水質汚濁防止法等が適用される事業場等を対象に計画的に立入検査を実施し、排水基準を遵守するよう、監視・指導した。また、香川県生活環境の保全に関する条例が適用される小規模事業場等について、計画的に立入検査を実施し、水質排水基準を遵守するよう、監視・指導した。</p> <p>(3) 事業場排水処理技術開発研究事業（1,550千円）</p> <p>事業場からの排水のうち、汚濁濃度が非常に高いなど特徴的な排水を低コストで処理できる排水処理技術について調査研究を行った。</p>	<p>公共用水域（河川・海域）や地下水の水質汚濁の状況を監視するとともに、工場・事業場の排水等の規制・指導を徹底することなどにより、汚濁負荷量の低減を図り、瀬戸内海や河川の環境の改善に努めた。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>かがわ「里海」づくり推進事業（4-2-14）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現を目指し、かがわ里海大学での各種講座の実施や里海ナビゲーション、海ごみ対策、里山整備の推進、生活排水対策の重点的な実施等、山・川・里（まち）・海を繋げる施策を総合的に進めた。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) かがわ「里海」づくり推進事業（7,749千円）</p> <p>かがわ里海大学において各種講座を実施して里海について理解を広げ、里海づくりをけん引する人材を育成するとともに、絵日記コンテスト等意識醸成のための里海ナビゲーションの実施、県民参加型モニタリング調査など、香川らしい里海の実現に向けた取組みを推進した。</p> <p>(2) 海ごみ対策推進事業（19,293千円）</p> <p>香川県海ごみ対策推進協議会において、香川県方式の海底堆積ごみ回収・処理システムを推進するとともに、発生抑制に係る普及啓発、県内一斉海ごみクリーン作戦、離島等の海岸を対象とした海ごみ回収・処理を実施するなど、参加型の海ごみ対策に取り組んだ。</p> <p>(3) 里山・竹林資源地域循環利用促進事業（744千円）（4-3-2に再掲）</p> <p>里山資源の利用促進を図るため、里山資源を活用し、薪生産等に取り組んでいる地域において、地元団体等が行う活動を支援し、里山資源活用の拠点づくりを支援した。</p> <p>(4) 生活排水対策重点事業（217,309千円）（4-5-2に再掲）</p> <p>合併処理浄化槽の設置や単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を推進するため、市町の整備費補助事業に補助を行うとともに、浄化槽の適正な維持管理を促進するため、法定検査の未受検者に対する指導等により、受検率の向上に取り組んだ。</p>	<p>3. 指標</p> <p>汚水処理人口普及率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="944 322 1401 486"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78.8</td> <td>81.1</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>多様な主体の参画のもと、香川らしい里海の実現に向け、意識の醸成や人材育成に取り組むとともに、海ごみなど重要課題に対する施策も合わせて総合的に進めることにより、「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現に努めた。</p>	基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	78.8	81.1	85.0
基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
78.8	81.1	85.0					

2. 課総括表

課名：森林・林業政策課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-3-1	県民総参加のみどりづくり事業	25,427	25,277		150	主要施策の成果の概要 (4-3-1)に記載
4-3-2	里山・竹林資源 地域循環利用促 進事業	800	744		56	主要施策の成果の概要 (4-2-14)に記載
4-3-3	森林整備担い手 育成確保対策事 業	28,698	27,744		954	森林整備の担い手育成・確保に要 する経費 経営基盤強化事業 主要施策の成 果の概要(4-3-13)に記載
4-3-4	林業普及指導事 業	51,742	51,669		73	林業に関する技術と知識の普及、 森林施業に関する巡回指導に要す る経費 給料25,999、職員手当等 15,714、共済費8,961
4-3-5	森林病虫害等防 除事業	(13,121) 51,352	(12,960) 43,784	6,427	(161) 1,141	マツ枯れ、ナラ枯れの防除等に要 する経費
4-3-6	森林センター整 備管理事業	31,055	30,417		638	苗畑、展示施設等の整備・管理に 要する経費 給料13,798、職員手 当等7,303、共済費4,575
4-3-7	森林センター園 内施設維持管理 事業	6,647	6,604		43	森林センターの維持管理に要する 経費
4-3-8	林業試験研究事 業	1,130	1,096		34	花粉症対策に資する育林・育苗調 査、松くい虫に抵抗性のあるマツ の増殖技術の開発など各種試験研 究に要する経費
4-3-9	森林公園管理運 営事業	(6,701) 166,263	(1,216) 122,676	(4,356) 42,226	(1,129) 1,361	公測森林公園、満濃池森林公園の 管理運営業務の委託及び施設整備 等に要する経費
4-3-10	林業金融対策事 業	577	81		496	各種金融制度の普及、地方公営企 業等金融機構の受託調査等に要す る経費
4-3-11	林業事務所庁舎 管理事業	27,840	6,657	20,807	376	東部及び西部林業事務所庁舎の管 理等に要する経費
4-3-12	新たな森林管理 システム推進事 業	2,900	1,580	990	330	主要施策の成果の概要 (4-3-12)に記載
4-3-13	県産木材の供給 と利用促進事業	(940) 21,403	(940) 20,767		636	主要施策の成果の概要 (4-3-13)に記載
4-3-14	森林計画樹立等 事業	3,327	3,136		191	地域森林計画の編成等に要する経 費 森林GIS管理事業2,178
4-3-15	造林事業(国 補)	(109,530) 260,792	(105,606) 175,188	81,566	(3,924) 4,038	主要施策の成果の概要 (4-3-15)に記載
4-3-16	離島振興造林事 業	2,076	1,953		123	主要施策の成果の概要 (4-3-15)に記載
4-3-17	森林・竹林整備 緊急対策事業	(10,440) 84,106	(10,380) 55,218	27,000	(60) 1,888	主要施策の成果の概要 (4-3-15)に記載
4-3-18	県営林管理事業	(4,147) 37,734	(4,147) 5,471	32,262	1	主要施策の成果の概要 (4-3-15)に記載
4-3-19	森林管理道事業	125,476	67,377	58,041	58	主要施策の成果の概要 (4-3-19)に記載

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-3-20	林道補助事業	(21, 450) 122, 674	(21, 450) 107, 394	15, 280		主要施策の成果の概要 (4-3-19) に記載
4-3-21	離島振興林道事業	2, 904	2, 904			主要施策の成果の概要 (4-3-19) に記載
4-3-22	林道施設整備事業	(4, 905) 46, 855	(4, 733) 22, 469	23, 500	(172) 886	主要施策の成果の概要 (4-3-19) に記載
4-3-23	単独県費補助林道事業	(3, 495) 11, 345	(3, 383) 10, 899		(112) 446	主要施策の成果の概要 (4-3-19) に記載
4-3-24	電子県庁推進 (電子納品) 事業	211	181		30	電子納品・情報共有システムの運用に係る保守、管理に要する経費
4-3-25	治山事業	(352, 693) 900, 949	(349, 274) 554, 381	342, 090	(3, 419) 4, 478	主要施策の成果の概要 (4-3-25) に記載
4-3-26	離島振興治山事業	(17, 378) 62, 726	(17, 252) 55, 505	7, 094	(126) 127	主要施策の成果の概要 (4-3-25) に記載
4-3-27	森林荒廃地緊急整備事業	(13, 028) 77, 438	(12, 987) 48, 649	27, 501	(41) 1, 288	主要施策の成果の概要 (4-3-25) に記載
4-3-28	単独県費補助治山事業	11, 800	6, 089	5, 065	646	主要施策の成果の概要 (4-3-25) に記載
4-3-29	治山施設機能強化事業	9, 970	7, 818	1, 729	423	主要施策の成果の概要 (4-3-25) に記載
4-3-30	給与費	310, 366	310, 247		119	みどり整備課職員等の給与費 給料162, 643、職員手当等 92, 318、共済費55, 286
	課計	(557, 828) 2, 486, 583	(544, 328) 1, 773, 975	(4, 356) 691, 578	(9, 144) 21, 030	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：森林・林業政策課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備考
みどり整備課	[1] 25	1	[1] 26	
森林センター	(1) 4	3	(1) 7	
東部林業事務所	9	2	11	育児休業1名
西部林業事務所	[1] 12	1	[1] 13	育児休業1名
小豆総合事務所 環境森林課	(1) 1		(1) 1	
合計	[2] (2) 51	7	[2] (2) 58	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を〔 〕内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>県民総参加のみどりづくり事業（4-3-1）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>県民の参加と協働による森づくりへの機運を高めるため、様々なみどりづくり活動への参加の機会を広く県民に提供するとともに、みどりづくり活動等に必要な支援を行い、県民総参加のみどりづくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県民総参加のみどりづくり事業（15,107千円）</p> <p>①みどりとのふれあい推進事業（297千円）</p> <p>森づくり活動への積極的な参加を呼びかけるため、森林ボランティア活動等の情報提供やどんぐり銀行活動を実施するとともに、手入れが必要な森林の情報を、森づくりに関心のある企業等に提供し、市町、森林組合等と連携して森林整備を行うフォレストマッチング推進事業により企業等との協働の森づくりを行った。</p> <p>②緑化推進事業（3,818千円）</p> <p>みどりづくりに関する普及啓発を図るため、緑の少年団活動の推進や緑化コンクールを実施した。</p> <p>③緑の少年団育成強化事業（1,574千円）</p> <p>緑の少年団の設立や活動の活性化を図るために必要な経費を助成した。</p> <p>④香川県街なか緑化推進事業（2,687千円）</p> <p>街なかの緑化を推進するため、私立保育所等が実施する芝生化や壁面緑化に要する経費を助成した。</p> <p>⑤どんぐり銀行活性化事業（1,719千円）</p> <p>どんぐり銀行を活性化するため、ポイント制度による協賛企業等の充実を図るとともに、どんぐり銀行臨時支店を開設した。</p> <p>⑥みどりの学校運営事業（5,012千円）</p> <p>みどりづくり活動への参加の機会を広く県民に提供するため、森林ボランティア団体等と協働し、みどりづくりに関する体験、学習、実践ができる様々な講座を開催するとともに、みどりづくり活動を担う人材の育成を行った。</p> <p>(2) ドングリランド施設維持管理事業（10,170千円）</p> <p>森林ボランティア活動の拠点であるドングリランドを、森づくり行事や森林環境教育の場として活用するため、指定管理者による適正な維持管理を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>公園・緑地面積 (ha)</p> <table border="1" data-bbox="954 315 1417 479"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,838 (R元)</td> <td>1,842 (R3)</td> <td>1,856 (R6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>県民参加の森づくり参加者数は、6,130人となった。</p> <p>みどりの豊かさ（森林・公園など）の満足度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="954 801 1417 965"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62 (R3.6 現在)</td> <td>63 (R5.6 現在)</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>森林ボランティア活動の関心度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="954 1048 1417 1211"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61 (R3.6 現在)</td> <td>64 (R5.6 現在)</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	1,838 (R元)	1,842 (R3)	1,856 (R6)	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	62 (R3.6 現在)	63 (R5.6 現在)	65	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	61 (R3.6 現在)	64 (R5.6 現在)	65
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
1,838 (R元)	1,842 (R3)	1,856 (R6)																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
62 (R3.6 現在)	63 (R5.6 現在)	65																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
61 (R3.6 現在)	64 (R5.6 現在)	65																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>新たな森林管理システム推進事業（４－３－１２）</p> <p>1. 趣旨・概要 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づく「新たな森林管理システム」を円滑に運用するため、市町の森林・林業行政を推進する人材や「意欲と能力のある林業経営体」を育成するとともに、登録・公表を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 森林整備等推進活動支援事業（589千円） 地域の実情に応じた森林整備を推進するため、森林経営管理制度や森林環境譲与税に関する研修やICT等を活用した森林整備計画策定支援研修を実施することで市町を支援した。 (2) 林業現場技能者育成事業（991千円） 「新たな森林管理システム」に基づく意欲と能力のある林業経営体の育成を図るため、素材生産を効率化するための技術や伐採跡地の再造林・保育等を低コストで実現する効率的な生産システムを念頭においた路網整備を行うことができる人材を育成した。</p>	<p>3. 指標 森林整備と木材利用に関する認知度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="954 353 1415 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47 (R3.6現在)</td> <td>50 (R5.6現在)</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>意欲と能力のある林業経営体 登録・更新 2者 林業現場技能者育成研修 受講 44人 新規就労現場技能者等育成研修 受講 8人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	47 (R3.6現在)	50 (R5.6現在)	60
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
47 (R3.6現在)	50 (R5.6現在)	60					
<p>県産木材の供給と利用促進事業（４－３－１３）</p> <p>1. 趣旨・概要 「みどりの基本計画」や「香川県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例」に基づき、関係機関と連携し、県産木材の安定供給と利用拡大に取り組むなど、森林整備と森林資源の循環利用を推進し、林業・木材産業の成長発展を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 県産木材供給促進事業（15,927千円） ①県産木材供給対策事業（1,840千円） 木材の伐採から加工・販売までの川上・川中・川下の効果的な連携を図り、需給のマッチング等を検討するため、情報共有するなど、県産木材の供給を促進した。 ②県産認証木材流通促進事業（3,122千円） 森林環境譲与税を活用し、県産認証木材の流通を促進するため、県産認証木材製品の加工経費や流通促進調査を支援するとともに、県産認証木材製品の品質について検証、PRを行った。 ③経営基盤強化事業（10,965千円）（４－３－３から再掲） 高性能林業機械の導入及び森林施業の集約化・団地化の促進等、経営基盤の強化に要する経費に対し補助を行った。</p>	<p>3. 指標 県産認証木材の搬出量 (m³)</p> <table border="1" data-bbox="954 1160 1415 1357"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28～R2 平均)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,230</td> <td>13,197</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H28～R2 平均)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	10,230	13,197	12,000
基準値 (H28～R2 平均)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
10,230	13,197	12,000					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(2) 県産木材利用促進事業 (15,805 千円)</p> <p>①香川県産木材住宅助成事業 (7,254 千円) 県産木材の住宅資材としての認知度向上と利用促進を図るため、県産ヒノキを利用した住宅の施主に対して、その利用量に応じて、購入経費の一部を補助した。</p> <p>②木とふれあう空間整備支援事業 (1,083 千円) 県産木材の民間施設での利用促進を図るため、県産木材をPR効果の高い公的スペースで利用した施主に対して、購入経費の一部を補助した。</p> <p>③木づかい・木育推進事業 (2,175 千円) 木と触れ合い、木の良さを体験するため「おもちゃ広場」を開設するとともに、森林と木造住宅が繋がっていることを体感し、県産木材を利用することが健全な森林を育むことをPRした。</p> <p>④森とみどりの祭典開催事業 (3,409 千円) 県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、緑の少年団や森林ボランティア、林業・木材産業の関係者が連携し、県民の「みどりづくり」から「木づかい運動」までの理解を深めるための普及啓発活動を行った。</p> <p>⑤「かがわの森 アンテナショップ」運営事業 (1,884 千円) 「かがわの森 アンテナショップ」等で、親子木工教室等の木材普及のためのイベントを随時開催する等、県産木材製品の展示、販売、PRを行った。</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																												
<p>森林の整備（造林）（4-3-15）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>森林の有する多面的な機能の維持、向上や里山の再生を図るため、森林所有者等が行う植栽、下刈、間伐等の森林整備に対して支援するとともに、県営林において、適正な保育管理を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 造林事業（国補）（175,188千円）</p> <p>森林の持つ公益的機能の維持、向上を図るため、森林所有者等が行う植栽、間伐等の森林整備に対し、補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 719 769 927"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽</td> <td>36.35</td> </tr> <tr> <td>下刈</td> <td>199.71</td> </tr> <tr> <td>除間伐</td> <td>168.08</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>404.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 離島振興造林事業（1,953千円）</p> <p>離島地域において、森林の持つ公益的機能の維持、向上を図るため、森林所有者等が行う植栽、間伐等の森林整備に対し、補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1128 769 1211"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除間伐</td> <td>5.42</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 森林・竹林整備緊急対策事業（55,218千円）</p> <p>国庫補助事業の対象とならない小規模な未整備森林や放置された竹林等の整備に取り組む森林所有者等に対し補助を行うとともに、間伐材等の搬出経費に対し助成を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1456 769 1664"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽</td> <td>1.98</td> </tr> <tr> <td>下刈</td> <td>6.60</td> </tr> <tr> <td>除間伐</td> <td>29.27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37.85</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 県営林管理事業（5,471千円）</p> <p>県営林において、森林の持つ公益的機能の維持、向上を図るため、保育整備（間伐等）を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1825 769 1908"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除間伐</td> <td>2.70</td> </tr> </tbody> </table>	区分	面積(ha)	植栽	36.35	下刈	199.71	除間伐	168.08	計	404.14	区分	面積(ha)	除間伐	5.42	区分	面積(ha)	植栽	1.98	下刈	6.60	除間伐	29.27	計	37.85	区分	面積(ha)	除間伐	2.70	<p>R4年度整備実績</p> <p>植栽：38ha</p> <p>下刈：206ha</p> <p>除間伐：205ha</p>
区分	面積(ha)																												
植栽	36.35																												
下刈	199.71																												
除間伐	168.08																												
計	404.14																												
区分	面積(ha)																												
除間伐	5.42																												
区分	面積(ha)																												
植栽	1.98																												
下刈	6.60																												
除間伐	29.27																												
計	37.85																												
区分	面積(ha)																												
除間伐	2.70																												

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																												
<p>森林の整備（林道）（4-3-19）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>多様な公益的機能を有する森林の整備や林業の生産性の向上を図るとともに、山間地域の利便性を高め地域の活性化を促進するため、林道の開設、改良、舗装等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 森林管理道事業（67,377千円）</p> <p>森林整備を推進するため、森林管理道琴南財田線のうち、2路線（4-2号線、2-1号線）の整備を行った。</p> <p>(2) 林道補助事業（107,394千円）</p> <p>市町が実施する既設林道の機能強化を図るための改良事業に対して補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="236 797 927 925"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県事業費（千円）</th> <th>路線数</th> <th>市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改良</td> <td>107,394</td> <td>9</td> <td>三豊市 外3市2町</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 離島振興林道事業（2,904千円）</p> <p>島しょ部における町が実施する既設林道の機能強化を図るための改良事業に対して補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="236 1086 927 1214"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県事業費（千円）</th> <th>路線数</th> <th>市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改良</td> <td>2,904</td> <td>1</td> <td>小豆島町</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 林道施設整備事業（22,469千円）</p> <p>森林管理道事業の実施に伴い、国庫補助の対象とならない附帯施設等の整備を行った。</p> <p>(5) 単独県費補助林道事業（10,899千円）</p> <p>市町が実施する林道開設・改良・舗装のうち、国庫補助の対象とならない小規模なものに対し、県単独で補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="236 1570 927 1794"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県事業費（千円）</th> <th>路線数</th> <th>市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改良</td> <td>8,399</td> <td>3</td> <td>東かがわ市 外1市町</td> </tr> <tr> <td>舗装</td> <td>2,500</td> <td>1</td> <td>まんのう町</td> </tr> </tbody> </table>	区分	県事業費（千円）	路線数	市町	改良	107,394	9	三豊市 外3市2町	区分	県事業費（千円）	路線数	市町	改良	2,904	1	小豆島町	区分	県事業費（千円）	路線数	市町	改良	8,399	3	東かがわ市 外1市町	舗装	2,500	1	まんのう町	<p>森林管理道琴南財田3路線全体の進捗率は81.5%となった。</p>
区分	県事業費（千円）	路線数	市町																										
改良	107,394	9	三豊市 外3市2町																										
区分	県事業費（千円）	路線数	市町																										
改良	2,904	1	小豆島町																										
区分	県事業費（千円）	路線数	市町																										
改良	8,399	3	東かがわ市 外1市町																										
舗装	2,500	1	まんのう町																										

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																											
<p>森林の整備（治山）（4-3-25）</p> <p>1. 趣旨・概要 山地災害から県民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養や生活環境の保全・形成を図り、安全で安心できる暮らしを実現するため、治山施設や森林の整備を推進した。</p> <p>2. 具体的内容 （1）治山事業（554,381千円） 山地災害の未然防止・軽減を図るため、荒廃地の復旧整備や保安林の整備を行った。</p> <table border="1" data-bbox="185 636 927 1211"> <thead> <tr> <th>事業細目</th> <th>事業費（千円）</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防治山事業</td> <td>116,826</td> <td>東かがわ市川東地区外2地区 治山施設3箇所</td> </tr> <tr> <td>復旧治山事業</td> <td>178,554</td> <td>東かがわ市東山地区外2地区 治山施設4箇所</td> </tr> <tr> <td>流木防止総合対策事業</td> <td>60,337</td> <td>まんのう町新目地区</td> </tr> <tr> <td>水源地域整備事業</td> <td>82,758</td> <td>東かがわ市外1地区</td> </tr> <tr> <td>保育事業</td> <td>47,084</td> <td>東かがわ市外7地区</td> </tr> <tr> <td>流域保全総合治山事業</td> <td>68,822</td> <td>東かがわ市川股地区外1地区 治山施設2箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）離島振興治山事業（55,505千円） 島しょ部における山地災害の未然防止・軽減を図るための全体計画の作成を行った。</p> <table border="1" data-bbox="185 1370 927 1507"> <thead> <tr> <th>事業細目</th> <th>事業費（千円）</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離島振興治山事業</td> <td>55,505</td> <td>小豆島・直島地区 治山施設1箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>（3）森林荒廃地緊急整備事業（48,649千円） 国庫補助事業の対象とならない小規模な荒廃地12箇所の復旧を行った。</p> <p>（4）単独県費補助治山事業（6,089千円） 市町が実施する国庫補助事業の対象とならない小規模な荒廃地及び荒廃危険地3箇所の復旧整備に対し、補助を行った。</p> <p>（5）治山施設機能強化事業（7,818千円） 既存治山施設の防災機能強化を図るため、林野庁の定めるガイドラインに基づき、施設の点検、診断を行った。</p>	事業細目	事業費（千円）	箇所数	予防治山事業	116,826	東かがわ市川東地区外2地区 治山施設3箇所	復旧治山事業	178,554	東かがわ市東山地区外2地区 治山施設4箇所	流木防止総合対策事業	60,337	まんのう町新目地区	水源地域整備事業	82,758	東かがわ市外1地区	保育事業	47,084	東かがわ市外7地区	流域保全総合治山事業	68,822	東かがわ市川股地区外1地区 治山施設2箇所	事業細目	事業費（千円）	箇所数	離島振興治山事業	55,505	小豆島・直島地区 治山施設1箇所	<p>予防治山事業など各種治山事業により、山地災害の未然防止に努め、山地災害危険地区における治山施設を10箇所整備した。</p>
事業細目	事業費（千円）	箇所数																										
予防治山事業	116,826	東かがわ市川東地区外2地区 治山施設3箇所																										
復旧治山事業	178,554	東かがわ市東山地区外2地区 治山施設4箇所																										
流木防止総合対策事業	60,337	まんのう町新目地区																										
水源地域整備事業	82,758	東かがわ市外1地区																										
保育事業	47,084	東かがわ市外7地区																										
流域保全総合治山事業	68,822	東かがわ市川股地区外1地区 治山施設2箇所																										
事業細目	事業費（千円）	箇所数																										
離島振興治山事業	55,505	小豆島・直島地区 治山施設1箇所																										

2. 課総括表

課名：みどり保全課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-4-1	みどりの県土保全事業	600	370		230	事前協議制度の施行及び適正な開発に向けた指導監視に要する経費
4-4-2	給与費	168,478	168,066		412	みどり保全課職員の給与費 給料87,428、職員手当等50,793、 共済費29,845
4-4-3	自然環境保全推進事業	94	94			自然環境保全地域等の指定及び管理に要する経費
4-4-4	絶滅のおそれのある野生生物保護対策事業	422	418		4	絶滅のおそれのある野生生物の保護対策に要する経費
4-4-5	生物多様性保全活動推進事業	4,730	4,627		103	主要施策の成果の概要 (4-4-5) に記載
4-4-6	みどりの具有施設管理事業	(6,600) 86,731	(6,414) 45,832	40,214	(186) 685	主要施策の成果の概要 (4-4-6) に記載
4-4-7	瀬戸内海国立公園等魅力向上事業	(37,280) 57,580	(36,469) 42,169	14,600	(811) 811	主要施策の成果の概要 (4-4-6) に記載
4-4-8	傷病鳥獣保護事業	5,433	5,398		35	傷病鳥獣の保護に要する経費
4-4-9	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する事業	10,703	9,313		1,390	鳥獣保護管理事業に要する経費 8,597 鳥インフルエンザ野鳥調査等 716
4-4-10	有害鳥獣総合対策事業	7,864	7,258		606	主要施策の成果の概要 (4-4-10) に記載
4-4-11	イノシシ被害未然防止緊急対策事業	3,490	3,490			主要施策の成果の概要 (4-4-10) に記載
4-4-12	アライグマ・スズメドリ等防除支援事業	1,500	1,054		446	主要施策の成果の概要 (4-4-10) に記載
4-4-13	特定鳥獣等個体群管理推進事業	26,087	25,510		577	主要施策の成果の概要 (4-4-10) に記載
4-4-14	保安林整備管理事業	11,784	11,726		58	保安林の指定・解除及び適正な管理に要する経費
4-4-15	林地開発指導監視事業	6,928	6,795		133	森林法の執行、普及啓発活動及び監視・巡視等に要する経費
	課計	(43,880) 392,424	(42,883) 332,120	54,814	(997) 5,490	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：みどり保全課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
みどり保全課	(1) 24	3	(1) 27	
合計	(1) 24	3	(1) 27	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>生物多様性保全活動推進事業（4-4-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 生物多様性の保全を推進するため、希少野生生物の保護対策や侵略的外来種の防除対策の検討などを行うとともに、保全の重要性を普及啓発するため、県内の研究者等が保管している標本を活用した「まちかど生き物標本展」等を開催した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 希少野生生物保全推進事業（2,229千円） 希少野生生物のモニタリング調査により、最新の生息・生育状況を明らかにし、希少野生生物の保護対策の検討を行った。</p> <p>(2) 侵略的外来種防除等対策事業（400千円） 侵略的外来種のうち、総合的に対策が必要と判断された種について、現地調査及び過去の文献調査結果等を踏まえ、防除対策指針を作成した。</p> <p>(3) 「まちかど生き物標本展」開催事業（1,998千円） 生物多様性保全の重要性の普及を図るため、県内の研究者等が収集・保管している貴重な標本を活用した「まちかど生き物標本展」を県立文書館など4会場で開催したほか、参加型のフィールド講座を公渕森林公園などで3回実施した。</p>	<p>3. 指標 生物多様性に関する県民の認知度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="941 353 1412 519"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.2 (R3.6 現在)</td> <td>42.0 (R5.6 現在)</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>生物多様性の保全に向けて県と連携した事業者・民間団体数</p> <table border="1" data-bbox="941 683 1412 804"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>7</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	37.2 (R3.6 現在)	42.0 (R5.6 現在)	50	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	—	7	15
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
37.2 (R3.6 現在)	42.0 (R5.6 現在)	50											
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
—	7	15											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>自然公園等保護・利用促進事業（4-4-6）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>瀬戸内海国立公園、大滝大川県立自然公園及び四国のみちの県有施設において、適正な維持管理と利用促進を行った。</p> <p>また、瀬戸内海国立公園の魅力向上させるため、公園利用施設の老朽化対策等のための整備を行い、その魅力を紹介するソフト事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) みどりの県有施設管理事業（45,832千円）</p> <p>瀬戸内海国立公園や大滝大川県立自然公園及び四国のみちについて、県が整備した利用施設等の修繕や清掃、除草等の維持管理を行った。</p> <p>(2) 瀬戸内海国立公園等魅力向上事業（42,169千円）</p> <p>訪日外国人をはじめとする観光客の利用環境を整備するため、瀬戸内海国立公園内の園路の改修や公衆トイレの洋式化などを行った。</p>	<p>自然公園の施設や四国のみちの安全・快適な利用の促進に努めた。</p> <p>また、瀬戸内海国立公園の施設の整備を行い、訪れる観光客の受入環境を向上させた。</p> <p>さらに、ウォーク行事を開催し、公園の魅力を発信するとともに、参加者が香川の自然について理解を深めることに努めた。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>野生鳥獣総合対策事業（4-4-10）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>野生鳥獣による被害に対処するため、市街地に出没するイノシシについて、市町による有害鳥獣捕獲では十分な捕獲が行われていない地域において、県が主体となって捕獲を実施したほか、将来にわたって捕獲の担い手を確保するため、人材育成事業等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 有害鳥獣総合対策事業（7,258千円）</p> <p>イノシシ等を市街地に出没させないよう「市街地イノシシ等侵入防止対策支援事業」を実施し、5市町に対し、集中的な捕獲や侵入防止柵の設置、捕獲資機材の購入について支援した。</p> <p>(2) イノシシ被害未然防止緊急対策事業（3,490千円）</p> <p>イノシシの出没が多発している市街地周辺の出没経路等において、ICT捕獲システムを導入した捕獲事業を実施した。</p> <p>(3) アライグマ・ヌートリア等防除支援事業（1,054千円）</p> <p>アライグマ・ヌートリア等の生息範囲の拡大や被害の甚大化を防ぐため、防除実施主体である12市町に対し、捕獲資機材の購入や捕獲個体の処分等に係る経費について支援を行ったほか、防除従事者養成講習会（3回実施し、37人が受講）を実施した。</p> <p>(4) 特定鳥獣等個体群管理推進事業（25,510千円）</p> <p>「第二種特定鳥獣管理計画」に基づき、環境大臣が定める指定管理鳥獣であるイノシシについては、市街地周辺や島しょ部等において、県主体の捕獲事業を実施するとともに、ニホンザルについては、特に加害性の高い群れを対象に、GPS発信機を活用した生息状況調査を実施した。</p> <p>また、狩猟初心者を対象にイノシシ捕獲技術講習会（4回実施し、52人が受講）を開催し、捕獲に必要な知識及び技術の習得による捕獲技術の向上を図ったほか、狩猟に興味のある若者を対象に狩猟フィールド体験入門講座（2回実施し、18人が受講）を開催した。</p>	<p>狩猟免許所持者数</p> <p>R 2年度： 2,141人</p> <p>R 3年度： 2,112人</p> <p>R 4年度： 2,142人</p> <p>イノシシ捕獲頭数</p> <p>R 2年度： 12,648頭</p> <p>R 3年度： 14,349頭</p> <p>R 4年度： 15,680頭</p> <p>アライグマ捕獲頭数</p> <p>R 2年度： 191頭</p> <p>R 3年度： 173頭</p> <p>R 4年度： 86頭</p> <p>ヌートリア捕獲頭数</p> <p>R 2年度： 156頭</p> <p>R 3年度： 129頭</p> <p>R 4年度： 151頭</p> <p>累計防除従事者数 (アライグマ・ヌートリア等)</p> <p>R 2年度： 1,517人</p> <p>R 3年度： 1,553人</p> <p>R 4年度： 1,589人</p>

2. 課総括表

課名：循環型社会推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-5-1	産業廃棄物処理対策事業	18,225	17,758		467	主要施策の成果の概要 (4-5-1)に記載
4-5-2	浄化槽対策費	239,835	227,676		12,159	生活排水対策重点事業217,309 主要施策の成果の概要 (4-2-14)に記載 県有施設浄化槽設置整備事業 10,367
4-5-3	循環型社会づくり推進等事業	4,769	4,237		532	主要施策の成果の概要 (4-5-3)に記載
4-5-4	エコアイランドなおしまプラン推進事業	6,000	4,907		1,093	主要施策の成果の概要 (4-5-4)に記載
4-5-5	豊島廃棄物等処理施設撤去等事業	(282,891) 1,010,900	(282,873) 959,844		(18) 51,056	主要施策の成果の概要 (4-5-5)に記載
4-5-6	ダイオキシン類対策事業	558	554		4	廃棄物焼却施設のばいじんや焼却灰等のダイオキシン類濃度の検査等に要する経費
4-5-7	給与費	210,212	210,111		101	廃棄物対策課職員の給与費等 給料107,155、職員手当等 64,660、共済費38,296
	課計	(282,891) 1,490,499	(282,873) 1,425,087		(18) 65,412	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：循環型社会推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
廃棄物対策課	(1) 26	(1) 1	(2) 27	
合計	(1) 26	(1) 1	(2) 27	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>産業廃棄物処理対策事業（４－５－１）</p> <p>1. 趣旨・概要 複雑多様化する産業廃棄物問題に的確かつ機動的に対応し、産業廃棄物の適正処理及び減量化・リサイクルの促進を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 産業廃棄物不法投棄等防止対策事業（14,216千円） 産業廃棄物の不適正処理の未然防止や早期発見、適正処理に関する指導等を実施した。 ①産業廃棄物処理指導監視事業 ②産業廃棄物処理に係る紛争対策等事業 ③不法投棄防止対策推進事業 ・夜間・休日パトロール事業 ・「廃棄物110番」事業 ・環境監視員事業 ④自動車リサイクル法に基づく指導事業 ⑤放置自動車処理条例に基づく指導事業 ⑥建設リサイクル法に基づく指導事業 ⑦県外産業廃棄物適正処理指導事業</p> <p>(2) 産業廃棄物適正処理推進事業（3,445千円） 産業廃棄物の適正処理を促進するため、処理業者及び排出事業者への啓発や指導育成を行った。</p> <p>(3) PCB廃棄物適正処理推進事業（97千円） PCB廃棄物の確実かつ適正な処理を確保するため、PCB廃棄物特別措置法に基づき、適正保管・処分等の指導監視に努めた。</p>	<p>産業廃棄物の適正処理に関する指導監視やPCB廃棄物の適正保管・処分の指導監視を行うなど、生活環境の保全などに努めた。</p> <p>産業廃棄物指導監視機動班による指導監視 R4年度実績 延べ438日、1,625件</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>エコアイランドなおしまプラン推進事業（4-5-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 豊島廃棄物等中間処理施設の整備を契機として、直島町において、新しく資源化・リサイクルについての先進的な環境産業の展開が図られ、町の活性化につながるよう、町と共にエコタウンプランの実現に向けて取り組み、循環型社会のモデル地域の形成を目指した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 環境調和型まちづくり推進事業（4,907千円） 住民まちづくりグループの活動等、エコアイランドなおしま推進委員会が実施する環境と調和したまちづくり活動を支援した。</p>	<p>廃棄物の埋立処分量の削減、雇用の創出、住民主体の環境と調和したまちづくりの機運醸成、交流人口の拡大など、地域活性化を図った。</p> <p>有価金属リサイクル施設の見学者数 H16～R4年度累計 23,420人</p>
<p>豊島廃棄物等処理施設撤去等事業（4-5-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 平成12年6月に成立した調停条項に従い、安全と環境保全を第一に、関係者の理解と協力のもと、関連施設の撤去や処分地の整地に取り組み、国の財政支援が受けられる令和4年度末までに処分地の整地工事を完了した。 また、本事業の進捗状況について、引き続き情報を積極的に公開した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業（959,844千円）</p> <p>①地下水モニタリングに必要となる一部の地下水観測施設を除き、豊島処分地における豊島専用栈橋や地下水の集水・貯留・送水施設等、関連施設の撤去を完了した。</p> <p>②処分地の整地にあたり、浸透機能を低下させないための敷均しや浸透池の残置など、地下水の自然浄化を見据えた整地工事に取り組み、豊島処分地の整地を完了した。</p> <p>③豊島処分地の地下水の追加的浄化対策を行い、環境基準の達成に向けた自然浄化による地下水のモニタリングを実施した。</p>	<p>豊島廃棄物等の処理量 H15～R4年度累計 912,989トン （うち汚染土壌 13,245トン）</p> <p>〔新たに見つかった廃棄物をR元年度に処理後、処理量は増えていない。〕</p>